

がん化学療法科 ニュースレター

ほほえみ 第61号



今年も残すところ一か月です。2015年は皆様にとって、どんな一年でしたでしょうか。今年は、プライベートにも忙しいことが多く、特に月日の過ぎるのが早かった気がします。もう、クリスマス・ツリーを出す時期とは、驚きですね。来年が、皆様にとって良い年となりますように。

がん対策推進協議会

この協議会は、がん対策基本法が施行されて、厚生労働省に設置されたがん対策の中核となるものです。この協議会の審議の内容は、厚生労働省のホームページから閲覧可能です。

<http://www.mhlw.go.jp/stf/shingi/shingi-gan.html?tid=128235>

ホーム > 政策について > 審議会・研究会等 > がん対策推進協議会(がん対策推進協議会)

現在、『がん対策加速化プラン』というのが議論されているようなのですが、その内容は、①予防、②治療・研究、③がんとの共生の三本柱になっており、特に予防には力点が置かれています。報道にもあったように、当初見込みより、がんの罹患率、死亡率が下がっていないという実情があり、踏み込んだ対応が必要になっています。この項目の大きな部分は、がん検診とタバコの二つです。さらに、肝炎対策やがん教育の問題も取り上げられてきています。

たばこに関しては、以下のように言及されています。

「現在習慣的に喫煙している者」の割合は 19.3 % であり、平成 22 年度以降は下げ止まっている。また、未成年者の喫煙率は減少傾向であるが 2012 年時点で、中学 1 年生 は男子 1.2 %、女子 0.8 %、高校 3 年生は男子 5.6 %、女子 2.5 % となっている。

日本の喫煙対策はまだまだのようですが、増税の議論を呼びそうですね。

がん医療に関しては、ゲノム医療がかなり前面に出ていて、

私のゲノム情報 → 私のがん医療

ということが言われているのですが、これは近未来的というか、結構、挑戦的な提言になっていますね。少し前にテーラーメイド治療あるいはオーダーメイド治療という言葉が一世を風靡したのですが、言葉は柔らかく和語になっているものの、基本となるベクトルは同じ向きです。今日、ゲノム解析の技術的なハードルが下がっているのです、この言葉が現実味を帯びたということでしょうか。

がんとの共生の領域では、就労支援が取り上げられており有意義だと思うのですが、提言自体は総花的であって、この領域を進展させるために、がん対策推進協議会の中に経済界の委員が少ないので、具体的な話になり得ていないように思います。がん対策というものが、実に幅広いということがわかりますが、実りのある議論を進めていく難しさというのが、垣間見えているように思いました。

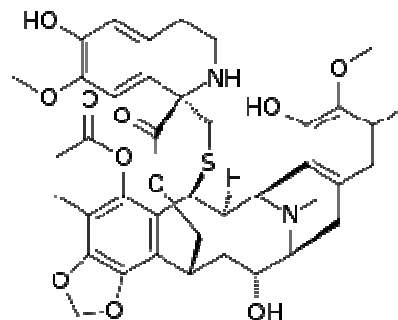


第54回 がん対策推進協議会の様子 →

軟部肉腫に対するトラベクテジンの承認について

近年のがん薬物療法で導入される薬剤は、そのほとんどが分子標的薬ですが、この薬剤は、従来型の抗がん剤です。複雑な構造式をしています。こういふのは、天然物由来ということで、ホヤの一種であるEcteinascidia turbinataの抽出物とされています。ただし、精製するのは困難で、実際には合成されているようです、こんな、複雑な化合物を合成するなんて気が遠くなりそうです。

本邦では12月から販売され、悪性軟部腫瘍の適応となっています。現時点では、肝機能障害が強いという情報があり、慎重に投与を行うことになりそうです。軟部肉腫は頻度が多い疾患ではないため、適応薬が少ない状況が続いていました。今回、使用できる薬剤が増えることは朗報だと思います。



シューベルトの即興曲 作品90

元々、クラシックよりはジャズを聴くことが多く、クラシックを聴くとしても交響曲を聞くことが圧倒的に多かったのですが、ごく最近ではピアノ曲を聞いています。夜に一人で、シューベルトの即興曲作品90というものを掛けています。これの、どこが良いかという、一人で夜に起きている孤独感に合いますね。フレーズが美しく、かつ深みがあって、聴きこむことのできるCDです。ショパンほど甘くなく、ベートーベンほど固くない、淡水の交わりといった感じですね。

人間の脳には、神の領域と言われる領域があって、啓示を受けやすさに影響するのではないかと、ちらっと読んだことがあるのですが、作曲家の脳にも何か特徴があるのでしょうか。この美しい曲を作った作曲家が、常に、生命の儚さに対する意識が高かったことも思い出しますし、もっといろいろな曲を作ってくれていたらなどと、冷え込む夜に考えたりしています。



シューベルト (Wikipediaより)

担当医の交代

2016年1月より、井上正広先生の異動により、井上先生の担当の方は、島津和弘先生に担当が変わります。折角、慣れたところで申し訳ありませんが、宜しく願い申し上げます。

MEMO

12月のがん化学療法科の予定

12月11日	柴田教授外来
12月18日	新渡戸稲造記念メディカル・カフェ(予定)
12月23日	天皇誕生日
12月24日	クリスマス・イブ
12月25日	柴田教授外来
12月30日	外来化学療法を行います
12月31日	大晦日

